

社会福祉学部カリキュラムマップ

人材養成目的:様々な生活上の課題に対し、真摯に向き合い、あらゆる知識や技術を傾注し解決を図ろうとする人間性と創造性豊かなソーシャルワーカー等の福祉実践力を持った人材などを養成する。						
ディプロマポリシー	○DP1 白らの力で学ぶための基礎知識及び専門にとらわれない幅広い知識を身につけ、また、それらを将来にわたって活用することができる。			○DP6 社会福祉の専門職と呼ばれるにふさわしい知識と技術を獲得している		
	○DP2 論理的に考え、丹念に調べ、しっかり表現できるための基礎的能力と教養(知的関心)・学究的な態度を身につけている。 ○DP3 社会福祉学、人間科学に関する課題について、隣接諸科学の成果を取り入れるなど思考の柔軟性を持ち、学際的な視点から研究を行うための素養を身につけている。			○DP4 社会的視野を拡大するための知識を身につけている。 ○DP5 サービスを必要とする利用者の生活実態について止しく把握するための知識を身につけている。		
科目区分	基盤領域科目	基盤領域科目	総合領域科目		専門実践領域科目	
	基礎教育科目	共通基盤科目	社会科学系列科目	総合科学系列科目	社会福祉系列科目	実践系列科目
4年次					更生保護論(DP6、DP7) 社会福祉経営論(DP6、DP7) 精神保健福祉制度論(DP6、DP7)	ソーシャルワークの理論と方法(専門)B(DP6、DP7) 精神保健福祉演習(専門)II(DP6、DP7) 精神保健福祉実習指導II(DP6、DP7) 精神保健福祉実習(DP6、DP7) 専門演習II・社会福祉実践(DP6、DP7) 専門演習II・人間科学(DP6、DP7)
3年次 または 3年次以上		病弱者の心理・生理・病理(DP1、DP2、DP3) 社会政策論(DP1、DP2、DP3) 行政法A/B(DP1、DP2、DP3)	社会科学特講A/B(DP1、DP4、DP5)		精神医学A/B(DP6、DP7) 公的扶助論(DP6、DP7) 精神障害リハビリテーション論(DP6、DP7)	ソーシャルワーク論II A/II B(DP6、DP7) ソーシャルワーク演習IV・V(DP6、DP7) ソーシャルワークの理論と方法(専門)A(DP6、DP7) 精神保健福祉演習(専門)I(DP6、DP7) 社会福祉実習指導II(DP6、DP7) 社会福祉実習II(180時間)(DP6、DP7) 社会調査実習A/B(DP6、DP7) 精神保健福祉実習指導I(DP6、DP7)
2年次 または 2年次以上	基礎演習II(DP1、DP2、DP3) 社会科学研究方法(DP1、DP2、DP3)	医学一般(DP1、DP2、DP3) こころと疲労(DP1、DP2、DP3) 知的障害者の心理I(DP1、DP2、DP3) 日本国憲法A/B(DP1、DP2、DP3) 権利擁護と成年後見(DP1、DP2、DP3) 社会福祉学特講A/B(DP1、DP2、DP3)	行政学(DP1、DP4、DP5) ローカルガバナンス(DP1、DP4、DP5) 経済学(国際経済を含む)A/B(DP1、DP4、DP5) 政治思想史A/B(DP1、DP4、DP5)	哲学A/B(DP1、DP4、DP5) 情報処理A/B(DP1、DP4、DP5) 人文地理学A/B(DP1、DP4、DP5) 自然地理学A/B(DP1、DP4、DP5)	精神保健学A/B(DP6、DP7) 児童福祉論(DP6、DP7) 障害者福祉論(DP6、DP7) 老人福祉論(DP6、DP7)	ソーシャルワーク論I A/I B(DP6、DP7) 社会福祉調査法(DP6、DP7) ソーシャルワーク演習II・III(DP6、DP7) 社会福祉実習基礎論(DP6、DP7) 社会福祉実習指導I(集中)(DP6、DP7) 社会福祉実習I(60時間)集中(DP6、DP7)
1年次 または 1年次以上	基礎演習I(DP1、DP2、DP3)	コミュニケーションとナラティブ(DP1、DP2、DP3) 大学生のためのソーシャルスキル(DP1、DP2、DP3) 障害者の生涯学習(DP1、DP2、DP3) 英語I A/B/C/D(DP1、DP2、DP3) ドイツ語A/B/C/D(DP1、DP2、DP3) フランス語A/B/C/D(DP1、DP2、DP3) 中国語A/B/C/D(DP1、DP2、DP3)	人間科学概論(DP1、DP4、DP5) 政治学(国際政治を含む)A/B(DP1、DP4、DP5) 法学(国際法を含む)A/B(DP1、DP4、DP5) 社会学A/B(DP1、DP4、DP5)	宗教学(キリスト教)A/B(DP1、DP4、DP5) 歴史学A/B(DP1、DP4、DP5) 心理学A/B(DP1、DP4、DP5) スポーツ科学概論(DP1、DP4、DP5) スポーツ科学実技A/B/C/D/E/F/G(DP1、DP4、DP5) ヘルスサイエンス論(DP1、DP4、DP5) 日本史A/B(DP1、DP4、DP5) 歴史と社会A/B(DP1、DP4、DP5) 地誌A/B(DP1、DP4、DP5)	社会福祉論A/B(DP6、DP7) キリスト教社会福祉論(DP6、DP7) ソーシャルワーク総論A/B(DP6、DP7) 社会福祉発達史A/B(DP6、DP7) 社会保険論A/B(DP6、DP7)	ソーシャルワーク演習I(DP6、DP7)
カリキュラムポリシー	○入学者一人一人が自ら考え、自ら行動することを通じて様々な生活課題を有する人や様々な課題を抱える地域を理解し、社会福祉および関連領域の知識や技能を総合的に活用しつつ他者とも協力してその問題を解決していくための資質や能力を体得できるような教育課程を編成する。 【社会福祉実践コース】支援を必要とする人の生活やこころを深く理解すると共に、福祉政策や制度、インフォーマルケアを含む社会システムとの連携など、具体的支援のための方法を熟知した、福祉実践者である社会福祉士または精神保健福祉士を養成できる科目を設定する。 【人間科学コース】人間関係を築くためのコミュニケーション力や問題解決力、リサーチ力を身につけ、現代社会の課題である「共生社会」形成の担い手として、福祉領域に限らず広く社会で活躍・貢献できる人材を育成するための科目を設定する。 ○社会福祉学における基本的知識、教養的知識に始まり、年次推移に従い社会福祉の専門的知識が醸成されるよう順序立った科目を構成する。					
	・CP1 大学において「学問」を継続していくうえで必要不可欠な「基礎の基礎」となる諸能力を養い、強化することを目指す。 ・CP2 諸外国の学問動向や諸事情を把握できる水準の語学力を身につけることを目指す。	・CP3 社会的現実を的確に把握するための知識の修得を目指す。 ・CP4 国家・社会といった制度的側面の理解を図ることを目指す。	・CP5 社会福祉における援助の対象となる「人間」そのものを、「人間」の内面・外面を問わず多角的にアプローチすることで総合的・立体的に理解することを目指す。	・CP6 社会福祉の歴史的経緯、相談業務や介護、社会保障など、社会福祉の全容を見通し、専門科目を学ぶ際に基礎となる事項の理解を目指す。	・CP7 利用者の自立支援の観点から、適切なサービスの選択を支援する知識及び技術を総合的かつ包括的に実践・展開できるよう多角的に学ぶことを目指す。 ・CP8 社会福祉のサービスを利用する人々に対応する分野に分け、そこに現れる固有の生活問題を理解し、相応しい解決策を見出すための理論を学ぶことを目指す。 ・CP9 得た知識や技術を総動員して、福祉の実践場面での確認や磨きをかけるための実習や演習などにより、社会福祉の専攻を専攻たるに相応しいものを目指す。	
アドミッションポリシー	社会福祉学部では、子どもからお年寄りまであらゆる人が抱える生活課題、地域で生じる課題等に強い関心を持ち、それらの問題解決のために必要な専門知識を学び、あわせて広い知識と思考力を身につけ、建学精神「畏神愛人」の人権尊重の立場にたった「福祉マインド」を持って地域社会に貢献できる人材を育成することを目的としています。具体的には以下のような学生を求めています。 ①高等学校において各教科・領域で学ぶ基礎的知識と技能を身につけている。 ②学校生活や学外の活動を通じて、健康や美しいもの、崇高なものに対する正しい知識や価値観を身につけている。 ③これまでの生活の中で培ってきた人間性や協調性を入学後もさらに発展させ、社会福祉の専門知識と技術を修得して社会に貢献したいという意欲を持っている。					